

平成 30 年度大学院学位記授与式祝辞

修了生の皆さん、本日は、誠にありがとうございます。また、この晴れの日を迎えるまで、皆さんの成長を傍らで見守ってこられたご家族の皆さまにも、日本体育大学を代表して、お祝いとともにこれまでの御支援に改めて感謝を申し上げます。

今年度は、体育科学研究科体育科学専攻博士後期課程及び前期課程の修了者に加え、教育学研究科実践教科教育学専攻博士前期課程において、初めて修了生を送り出すことができ、ひととき嬉しく思います。

前期課程を修了する皆さんは、この 2 年間で、修士論文をまとめ、研究者として新たな道を拓くとともに、より高度な専門職業人として、その実践力を磨くべく、それぞれに精進されてきました。研究者、教育者、指導者として必要な知識と技術とを修得し、大きな成長をいまここに実感していることと思います。

一方、後期課程を修了し、博士の学位を取得した皆さんは、今後さらなる研鑽を重ね、それぞれの専門分野のトップランナーとして、学問の発展に大きく貢献されることを期待致します。

本学は、新学部設置とともに、大学院研究科の充実をあわせて図ってまいりました。2017 年 4 月に、教育学研究科実践教科教育学専攻博士前期・後期課程の第 1 期生を迎え入れ、続く本年度は、保健医療学研究科保健医療学専攻(修士課程)及び体育科学研究科コーチング学専攻をそれぞれ開設しました。

現在、3 研究科 4 専攻を擁する本学大学院課程の特色は、いずれも、体育・身体活動・スポーツの実践から生じる諸問題について、人文科学・社会科学・自然科学のあらゆる分野から総合的に分析・検討を加え、得られた新たな知見や解決法を実践現場に還元する、いわゆる双方向的な研究活動を主眼としているところにあります。従って、実践の現場を強く意識した研究の在り方、「実践と理論との一体化」、が常に求められていることは言うまでもありません。

皆さんはこれまで、地道な基礎研究と課題解決に向けた実践的・先駆的な研究を、各専門分野との連携を図りながら進め、その成果を広く社会に発信してくれました。関連学会における数多くの論文発表・口頭発表がこのことを如実に物語ってくれます。

こうした姿勢は、これまで指導して戴いた先生から、それぞれ日常的に教わってきた事柄であり、修了生の皆さんには、これからもこうした我々人間の心身の可能性、生命の輝きや身体の躍動について、真摯に追究してもらいたいと強く願います。

それぞれの取り組みのひとつひとつが、本学の財産であり、大学と社会との間に、「知と技」の好循環を創出することに繋がります。「体育・身体活動・スポーツを通じた健康で豊かな社会・人づくりの実現」という本学の基本理念を、修了にあたりいま一度、皆さんにしっかりと理解してもらい、さらなる未来を切り拓く一翼を担わんことを期待します。

研究者、教育者、指導者としてそれぞれ、謙虚な姿勢で、その道程を着実に、一步一步、前進されることを願うとともに、皆さんのますますの飛躍を大いに期待し、本日の門出に重ねてお祝いを申し上げます。

平成 31 年 3 月 15 日
日本体育大学
学長 具志堅 幸司